



令和4年度新臨技中越支部ふれあい研修会報告

令和4年12月10日（土）、例年開催している中越支部ふれあい研修会をWebにて開催いたしましたのでご報告いたします。今年のふれあい研修会では、アツヴィ合同会社様の協力の下、C型肝炎をメインとした研修会となりました。

【講演1】では、栃木県芳賀赤十字病院の落合剛史先生から「C型肝炎検査の検査結果告知漏れ対策について」と題してご講演いただきました。

前半はC型肝炎に係る検査法から検査結果の見方、HCV ウイルス感染による性別・死亡数推移など初心者でもわかりやすい内容から始まり、後半では芳賀赤十字病院で実際に行っているHCV抗体陽性時の検査の流れや院内全体でのフローをご講演いただきました。当病院では肝疾患コーディネーターという資格を持つ職員が臨床検査技師5名を含む19名在籍しており、HCV抗体陽性時には陽性となった全患者に適切な対応を行うため、毎月1回HCV抗体陽性者検討会を開催しているそうです。年間数百名のHCV抗体陽性患者が検査される中で、多職種が関わる検討会を開くことで陽性患者に対する未対応件数は0件になっているとの事でした。これもチーム医療の一つの形として、タスクシフト/シェアを進める我々臨床検査技師のかかわり方の一つと実感しました。

先生には大変わかりやすくご講演いただきました。ありがとうございました。

【講演2】では長岡赤十字病院消化器内科部長吉川成一先生より、C型肝炎の診断と治療に関する話～臨床検査技師に望むこと～と題してご講演いただきました。

現代ではC型肝炎は飲み薬だけでほぼ完治する夢のような時代となりました。それに伴いC型肝炎による肝硬変や肝癌の発生も減少傾向となり、自己負担も少なくなっているそうです。先生はC型肝炎の治療に際して陽性時の具体的な流れや多職種連携が必要とし、改めてチーム医療としての臨床検査技師の役割を考え直す機会となりました。他にもB型肝炎に関する治療や日本肝臓学会のガイドライン、自己免疫性や薬剤性などを含むその他の肝疾患のことなど、先生には大変詳細にご講演いただきました。ありがとうございました。

研修会の最後には各施設を交えたディスカッションの時間となりました。各施設での取り組みや今後の運用についての内容、また講演に関する質問も含めながらのディスカッションとなり大変有意義な研修会となりました。

（文責：新潟県立精神医療センター 高橋 佑生）

<中越支部 今後開催の研修会のお知らせ>

令和5年3月4日(土) 令和4年度中越支部講演会・通常総会 同日開催 (Web形式)

講演①『学会発表のスライド作成のポイント』

【講師】県立がんセンター 畔上公子 技師

講演②『動脈硬化症予防ガイドラインの変遷と脂質検査の対応』

【講師】栄研化学株式会社 長尾章子先生

※ 講演会終了後に通常総会を開催します

<お問い合わせ>

長岡赤十字病院病理診断部 (中越支部事務局)

代表者：田村正史

電話：0258-28-3600 (内線：2318)

メール：tamarino5151@yahoo.co.jp